

世界獣医がん学会 2024

World Veterinary Cancer Congress

Tokyo, Japan

第29回日本獣医がん学会

2024年3月21~24日

事前登録受付中!

会場

ホテルニューオータニ東京

WVCC2024は世界各国から動物の診療に係る研究者等が一堂に会して、動物のがん治療等に関する最新の研究発表や意見交換を行う国際会議です。世界の各都市で4年ごとに開催され、日本では初めての開催となります。第1~3日目は世界数十カ国の研究者達による研究発表約100題と世界で活躍されているスペシャリスト達による基調講演9題を予定しています。研究発表も比較的臨床的な内容が多く、研究者や専門医だけでなく一般臨床医の皆様にも楽しんで頂けると思います。研究発表は英語での発表となりますが、基調講演には日本語の同時通訳がなされる予定です。第4日目は国際シンポジウムです。午前は犬の下部泌尿器系癌について、午後は犬の組織球形肉腫について、その腫瘍を知り尽くしたレジェンドと新進気鋭の日本の研究者をパネリストにお招きし徹底的に討論致します。また子育て中の参加者にも安心して学会に参加できるよう託児所もご用意しています(要予約)。



小林 哲也

WVCC 実行委員長

WVCC2024inTokyoに参加していただく皆様には「おもてなしと感動」を経験して頂くことができるよう、石田卓夫会長をはじめ実行委員が心を込めて準備しています。皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

※世界獣医がん学会は第29回日本獣医がん学会と共催となります。

本学会認定医の更新に必要な証明印は会場のみで認定証カードに押印いたします。

Contact

World Veterinary Cancer Congress info@wvcc2024.com

Organizer



Supporters



WVCC2024

<https://www.wvcc2024.com/>

講演者



坂口 志文

大阪大学免疫学フロンティア研究センター

医師・免疫学者。制御性T細胞の発見と免疫疾患における意義を解明したことで知られる免疫学の第一人者。



Nicholas J Bacon

AURA Veterinary
獣医腫瘍外科学



Alejandro Cervantes

Universidad Nacional
Autónoma de México
獣医臨床腫瘍学



Maria Dagli

University of Sao Paulo
獣医病理学



Deborah W Knapp

Purdue University College of
Veterinary Medicine
獣医腫瘍内科学



Susan M. LaRue

Colorado State University
獣医放射線腫瘍学



Duncan Lascelles

North Carolina State University
College of Veterinary Medicine
獣医腫瘍外科疼痛学



前田 真吾

東京大学
獣医病態生物学



Nicola Mason

University of Pennsylvania
School of Veterinary Medicine
獣医病態生物学



水野 拓也

山口大学
獣医臨床病理学



Peter F Moore

University of California, Davis
獣医免疫病理学



Erik Teske

Utrecht University
獣医腫瘍内科学



富安 博隆

東京大学
獣医腫瘍内科学

事前登録料金 (4日間)

● 各日のパーティ費用を含みます ● 1日券のご用意はございません

	2024/1/15 まで	2024/1/16 以降
日本獣医がん学会会員 および協力団体*	50,000 円	60,000 円
非会員	70,000 円	80,000 円
学生 / 研修医 / 研修生 / 動物看護師	40,000 円	45,000 円

※ JVCS会員にはJVCSの助成があります。詳しくはJVCSのホームページをご覧ください。

※ 会場の模様は後日オンラインで配信されます。



事前登録受付中!

参加登録、プログラムの詳細は
WVCCのホームページをご覧ください。

